【令和8年度】 エシカファーム　ガイドライン評価改善シート

事業所名:　　ドリームケアふぃる　まつもと園

作成日:令和8年　9月　30日

本部	代表	施設長
田中	風間	齊藤

前年度　施設目標	前年度の改善への取り組み	・目的を明確にした理解しやすく、過ごしやすい構造化を進めていく ・情報の周知をよりわかりやすくする ・保護者の方と、情報共有を丁寧に続けていく。
	前年度の施設目標 （支援方針）	・個別対応、合理的配慮、安全を念頭に置き、QRLの向上につながる支援をしていきます。 ・将来に向けて、5領域を意識した、本人、ご家族のニーズに沿った支援の提供を続けていきます。 ・わかりやすい情報提供、周知を丁寧に行います。

項目	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での共通点	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上で相違点
環境・体制整備	・建物の構造上、バリアフリー化できる部分に関しては取り組んでいる。 ・バリアフリーに関しては、一般認識より弱いと感じる。	・室内空間に関してのできる範囲でのバリアフリーに関する周知ができていない。 ・活動スペース、環境に関して、どちらでもない意見が見られた。
業務改善	第三者的にコンサルの活用、保護者アンケートの結果、自己評価等を通じ、業務改善、支援改善にフィードバックができている	特に相違なし
適切な支援の提供	適切な支援の提供に関して、保護者との連携を図りながら、本人の成長を実感る形であらわれるので、結果としてできていると感じる。	特に相違なし
関係機関や保護者との連携	概ね連携できている。関係機関、医療関連の連携は保護者を通じての形になる。	特に相違なし
保護者への説明責任等	概ねできている。	・保護者、家族、参加型プログラム(イベント等)の情報提供の認識、周知に若干ずれが見られる ・保護者向け研修会や、きょうだい児の交流会、きょうだい児への支援がどちらでもない評価が半数。
非常災害等への対応	概ねできている。	安全計画の周知の認識にずれが見られる
支援プログラム	固定しないよう、本人に合わせた形に適宜調整出来ている。	特に相違なし

分析検討してみての事業所の強み	分析検討してみての事業所の改善点
支援に関しての満足度は高く、スタッフも、コンサル、研修、実践を通し、スキルが上がってきているので、困難なケースにも対応可能になってきている。 個別に最適な支援を提供できるスキルがある。 保護者の方との連携、信頼関係も構築できつつあり、一人一人が成長の場として、安心して通っていただけるようになってきている。	きょうだい児の支援としては、面談時に、保護者の方から様子や、悩みを積極的にうかがうようにしている。送迎に変更してから、活動場所など、周知する機会が少ないため、会報、面談時に見ていただく、などを活用して、周知をしていきたい。保護者参加型イベントの周知や、非常時のマニュアル、安全対策に関するお知らせをもっと表面化していく必要がある。

評価を行っての事業所としての感想など
お子さんの成長を保護者の方と一緒に実感できるこの仕事は、全スタッフ、誇りに思っている場面も多く、スタッフの自己満足に終わっていない事がアンケートを通じて今年も、実感できました。引き続き、有効で、意味のある支援を丁寧に行っていく事を続けていきながら、安全に配慮している事も実感していただけるように、家族、きょうだい児にまで、不安が減るような寄り添い方に発展していけたらいいと思います。

今年度　施設目標	改善への取り組み	・安全計画の周知 ・イベント、保護者向け研修会、きょうだい児にも参加してもらえる内容の保護者会 ・適切なモニタリング、アセスメントを通しての成長内容の確認、挑戦できる事の提案を前向きに続ける。
	施設目標 （支援方針）	・個別対応、合理的配慮、安全を念頭に置き、ふぃるだからできる、QRLの向上につながる支援をしていきます。 ・将来に向けて、5領域を意識した、本人、ご家族のニーズに沿った支援の提供を続けていきます。 ・本人に合った環境設定を調整し続けます。